

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第183号	氏名	宮本 力
学位審査委員	主 査 青柳 潔 副 査 小路 武彦 副 査 平野 明喜		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、滑膜由来間葉系幹細胞の軟骨分化に対する Osteogenic protein (OP)-1 の影響について調べたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 関節リウマチ患者の滑膜から遊離、培養した細胞に対して、TGF-β1 及び Osteogenic protein (OP)-1 を単独また同時に投与し、グルコサミノグリカンと DNA 量を測定し、コントロールと比較したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、OP-1 と TGF-β1 の同時投与は、滑膜由来間葉系幹細胞の軟骨分化を著しく促進されることを明らかにし、今後の関節軟骨再生の臨床応用への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は関節軟骨再生研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			